

あきしまの教育

編集・発行 昭島市教育委員会事務局

東京都昭島市田中町1-17-1 / ☎042(544)5111
http://www.city.akishima.lg.jp/

人権尊重教育推進校の取り組み

玉川小学校は、今年から2年間の指定で、東京都の人権尊重教育推進校になりました。

人権というと、難しいイメージもありますが、「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること」を基本として研究に取り組み始めました。

具体的には、研究主題を「自分も友達も大切にできる豊かな心の育成」互いに認め合う活動を通して」とし、年間の計画を立てて研究を進めています。25年度の柱は次の2点です。

1 教科等の指導の工夫

普段の授業において、人権について意識をして指導をしています。

2 日常的な指導の工夫

授業のみならず、普段のあいさつや、他の学年と触れ合う縦割り班活動、人権標語の作成等に取り組んでいく。

これらのことは、全部の学校で行われていることですが、玉川小学校の子どもの実態に合わせた研究のために、実態把握を行っています。

具体的には、「学級の中で子どもがどのように普段の生活を

しているのか」を把握するため調査を年間2回実施したり、人権を意識した授業研究を行っています。

7月5日には、市内の学校や近隣の学校の先生を対象にした公開授業を行いました。



当日は4年生のクラスで公開授業を行い、仲間はずれになつてしまうことについて考える道徳の授業を行いました。

子どもは、いじめる側・いじめられる側・まわりにいて様子を見る側の立場に立つて考えていました。

「いじめはよくないこと」について考える授業を進めました



アスリートの

一日校長先生事業

田中小学校は、東京都のスポーツ教育推進校の指定を受け、体力向上に向けた取り組みを行っています。その一環として、6月28日、北京オリンピックビーチバレーボール日本代表の朝日健太郎さんが、「一日校長先生」として来校されました。

全校児童に向けて話をしていただいた後に、4年生以上の授業で、ボールを使ったバランスゲームやパスの練習をしました。ネットを張って、実際にサーブを打っていただき、そのスピード感も体感しました。

子どもたちから、「なぜ身長が高いのですか」との質問に、「背は寝ている間に伸びます。遅くまでゲームをしないで、小

が、この授業だけではなく普段の学校生活全体でいじめを含め人権について考えていくことが大切であることを実感しました。今後も研究を進めていき、平成26年度には、研究発表会を実施します。

学生は9時には寝てください。良く寝て、朝はちゃんと起きて朝ごはんをしっかり食べれば大きくなります」と答えてくださいました。

この事業の中で、たくさん運動をし、物事に集中して取り組むこと、スポーツができる環境を作っていくことの大切さを学ぶことができました。

